

環境志向型オフィスへの改革

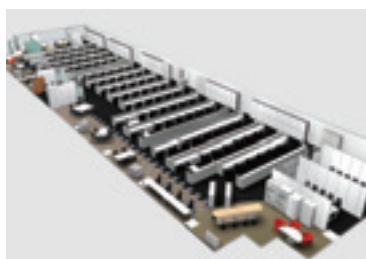
ICTを活用した新しいオフィス環境の構築やワークスタイル変革を通じて、さらなる環境負荷の削減をめざしています。

オフィススペースの有効活用に向けて

2007年度以降、日本ユニシスグループ企業におけるグループIT戦略の一環として、情報資産の統合化を進めています。具体的には情報システム部門を中心に、情報システムの運用コスト、電力消費量の削減、データセンターおよびオフィススペースの利用効率向上のための施策に取り組み、社内業務システムサーバの統合・集約および社内向けクラウドコンピューティングサービスの試行を開始しました。

2006年度にはグループ各社において800台以上のサーバがありました。順次削減を行い、2年間のうちに約500台の削減（オフィススペースに換算するとラック70本程度（＝約140m²分））を実現しています。

こうした取り組みに加え、日本ユニシス本社ビルにおける、キャビネット（書類棚）の約9割（約3,800m²相当）撤廃などのオフィス環境の変革や、テレワーク推進によるフリーアドレス化により、オフィススペースを有効活用し、単位面積当たりの省エネ化につなげることをめざしています。また、サーバ集約化の推進



本社各フロアの新レイアウトイメージ

においては、スペース

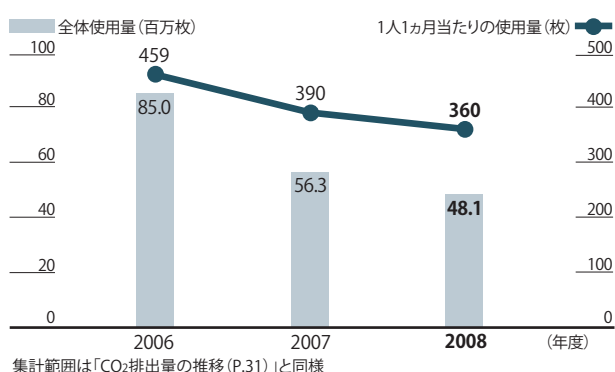
の有効活用にとどまらず、電力使用量の削減効果も期待できるものと考えています。

2002年度以降実施している環境マネジメントシステムの取り組みに加え、今後はこうしたオフィス改革を通じた環境負荷削減への取り組みを、より一層進めていきます。

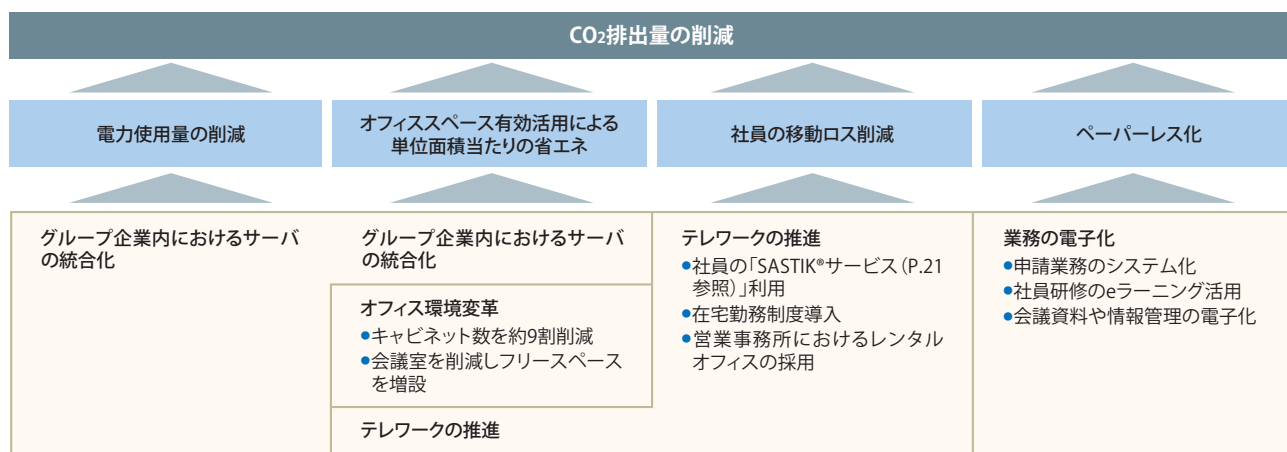
ペーパーレス化の推進

日本ユニシスグループ企業における申請業務のシステム化のさらなる推進や、社員研修におけるeラーニング活用により、ペーパーレス化の効果が現れてきています。今後も、環境マネジメントシステムを通じた各部門における取り組みとあわせ、さらなるペーパーレス化を進めていきます。

コピー用紙使用量の推移



環境志向型オフィス改革に向けた取り組み状況と主な期待効果



お客さまやメンバーから喜ばれることが「やりがい」です。「信頼・信用」を（意識せずとも）築くために、得を求めず、「徳」を貯めていきたい。
1977年入社 富村 雅弘



ネットワークおよびサーバの保守・運用を24時間365日確実に行うことで、陰ながら公共・住民サービスを支えていると感じています。
1976年入社 田中 晶